

万葉と舞楽の世界

天に響く、地に刻む。時空を舞い、未来へ。

7日 土

ワークショップ

雅楽に親しむ 参加者募集

参加無料

午前10時～正午 / 2階会議室

洋遊会(福岡町)メンバーが雅楽の魅力楽しく紹介します。

内容：雅楽器演奏体験、雅楽講話 ほか
対象：小学生から社会人までどなたでも参加できます(定員あり)
お申込み：高岡市民会館 / TEL.0766-20-1560 まで

高岡国際文化サミット by Geibun

午後1時30分開演(午後1時開場) / 大ホール

童舞公演「迦陵頻」

観覧無料

出演：洋遊会(舞人：千鳥丘小学校児童) 所要時間：約15分

洋遊会が1年前から取り組んできた童舞の初演です。千鳥丘小学校5年生4人が皆様を雅な世界へ誘います。

時空を超えたコラボレーション

響 The hallway echoed with his footsteps

観覧無料

出演：ダンスカンパニーノマド～s・洋遊会 所要時間：約30分

コンテンポラリーダンスと雅楽。新しい表現は私たちの感覚を呼び覚まします。

プロフィール

ダンスカンパニーノマド～s

1992年より、池宮中夫、熊谷乃理子を中心に国内はもとより、ギリシャ、ドイツ、オーストリア、フランス、イギリス、ハンガリーなど、ヨーロッパを中心に海外公演も積極的に展開。近年では2005年3月「Gesicht und Geschichte 顔と歴史—ひとつの小さな夜—」を横浜赤レンガ倉庫一号館ホール(横浜ダンスコレクションR参加事業)にて発表。同年4～5月ドイツ、フィンランド公演。2006年5月～6月同作品での東欧、ドイツツアーは好評を博す。



GESCHICHTE on THE BLOG <http://blog.goo.ne.jp/nomade-s>

高岡国際文化サミット by Geibun

地域文化と世界

入場無料

パネリスト：フランス・スペイン大使館各文化担当官、
橘慶一郎(高岡市長)、前田一樹(富山大学芸術文化学部学部長)
コーディネーター：伊東順二(富山大学芸術文化学部教授)
所要時間：約90分

「万葉集」や「雅楽」などの関わりを含め、凝縮された日本文化を地域文化として持つ高岡。地域文化の発信のあるべき姿を国際的なパネリストを迎え、ここ高岡から皆様とともに考えます。

空間構成 7日[土]～8日[日] | 富山大学芸術文化学部による光の花道が広場とステージを結びます。

2006年

日時 10月7日[土]・8日[日] | 会場 高岡市民会館

昨年11月、高岡市と福岡町が合併しました。新市の誕生にふさわしい新しい地域文化の創造と交流の場を、新生・富山大学芸術文化学部とともに古城の森から発信します。

8日 日

本公演

万葉と舞楽の世界

～みなぎる天平のリズムと色彩～

午後2時開演(午後1時開場) / 大ホール

出演：東京楽所・洋遊会
曲目：陪廬、人長舞(其騎)、狛神、蘭陵王

宮内庁式部職楽部楽師を中心に結成する雅楽演奏団体の最高峰「東京楽所」と高岡市福岡町の「洋遊会」による華麗なる舞楽の真髄に迫ります。雅楽や万葉を楽しく紹介しながら皆様をいにしへの雅な世界へと誘います。

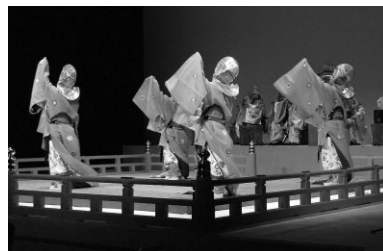
プロフィール

東京楽所 / 代表：多 忠輝

1970年代、宮内庁式部職楽部楽師によって結成された紫絃会を前身として、1973年、宮内庁式部職楽部のメンバーを主体に累代の楽人に併せて、民間の優秀な雅楽奏者も含めて創設。芸術音楽としての雅楽演奏を目的として結成された、現在わが国最大規模の高い芸術性を有する雅楽団体。

国立劇場をはじめ国内の多くの公演に参加。また、海外では1983年、外務省の招請により文化使節年としてヨーロッパ各地で公演、1986年、エジプト・カイロ公演、1987年、米国において日本伝統使節団に参加。近年では2005年、日本EU友好年において、1月ドイツ・ベルリン公演、12月イギリス・ロンドン公演など、世界的な活動を展開。2002年キングレコードより発売された「御遊」「御慶」の2枚のCDを含め、現在までに十数枚のCDを出版。

また外国版CDの制作も手掛けており、雅楽の世界的普及にも努めている。



洋遊会(高岡市福岡町) / 会長：上野 慶夫

今年で145年の歴史を持つ、高岡市福岡町の雅楽団体。北陸では、江戸時代後期から民間でも雅楽が親しまれたと言われている。洋遊会の前身が結成されたのは、文久元年(1861)のことで、福岡町の雅楽愛好家たちが、「暢日連」という同好会を結成した。

明治11年(1878)、明治天皇は岩倉具視、大隈重信らを伴い北陸地方をご巡幸され、福岡町にも立ち寄られた。その際、暢日連はご休息所で五常楽、越天楽を演奏し、一行を大変喜ばせ、この時使用を許された菊のご紋章つきの幟が現在も保存されている。その後、宮内省の楽師を招いて、直接指導を受けるようになった。

大正8年(1919)に宮内省の東儀俊義師の命名により会名を「洋遊会」と改めた。さらに当時の会長、川島静哉の尽力により、舞楽面、装束、楽器、古楽書、楽譜等を収集し、数々の楽曲、舞を習得した。全国的にも珍しい、本格的な舞楽を行える民間雅楽団体として、祇園社、本願寺など京都の社寺に招かれ活躍を続けた。



戦後は福岡町無形文化財に指定され、毎年定期公演等を行い、平成12年(2000)の英国ヨークシャー公演は大好評を博してBBCテレビで絶賛された。

昨年の合併により現在は万葉のまち、高岡市の無形文化財として新たな活躍が期待されている。